

優秀賞

## ゴミーで変えるリサイクル社会

松井 勇樹（プログラマー：奈良県）

昨今の社会で一番の問題はゴミが人間が生活しているとどうしても発生することだろう。全ての資源がゴミではなく、もう一度エネルギーとして、使われれば循環型社会が実現でき、恒久的な発展が望める。それをするために、資源ごみの分別をするとゴミーというゲーム内の生物を成長させるためのゴミー通貨が発生するというゲームがあればいいと思う。資源を分別するゴミ箱ごとにセンサーが取り付けられて、きちんとした分別ができると得点に反映され、ゴミーが成長する。ゴミーが最も成長するのは、一週間のログインを行なった後、その週のゴミと、前の週のゴミを比べたときに量が減っていると大きくゴミーは成長する。また、紙の資源、プラスチックの資源などが減る状態に合わせてゴミーは成長する。ゴミーの成長はユニークで、XなどのSNSでゲーム内のゴミーを友達と見せ合ったりできる。また、ゴミーには最近捨てたものの図鑑がついており、魚のプラスチックのプレートが消費期限切れで捨てられた時などは、大きなペナルティーを課せられる。要は、消費期限が切られるような資源の無駄遣いに目を光らせているのである。そのため、ゴミーのゲームを通して消費期限を意識して、買い物をするようになり、大きく無駄なお金を使うことと、ゴミを出すことを防げるのである。